

飯山市総合戦略



ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032



デジタル技術を最大限活用しながら
行政分野横断的に地方創生の取組を推進

飯山市総合戦略

人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、国は平成 26（2014）年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。同年度には 2060 年に 1 億人程度の人口確保を目指す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

このような国の動向を踏まえ、本市では平成 27（2015）年度に第 1 期飯山市総合戦略を、令和 2（2020）年度には国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂を踏まえ、これまでの取組に関係人口や SDGs など新たな視点を加えた第 2 期飯山市総合戦略を策定しました。この計画では、「地域経済活性化・雇用創出」、「若者定住・移住定住推進」、「子育て支援・次世代育成」、「いつまでも安心して暮らせる地域づくり」の 4 つの戦略を掲げ、人口減少と少子高齢化対策に重点を置いた地方創生の取組を進めました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症のまん延による影響やデジタル技術の急速な進化に伴い、テレワークの普及や地方移住への関心が高まるなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化しています。国は「今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・進化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すことなどを目的に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和 5（2023）年度から 5 か年の新たな総合戦略「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

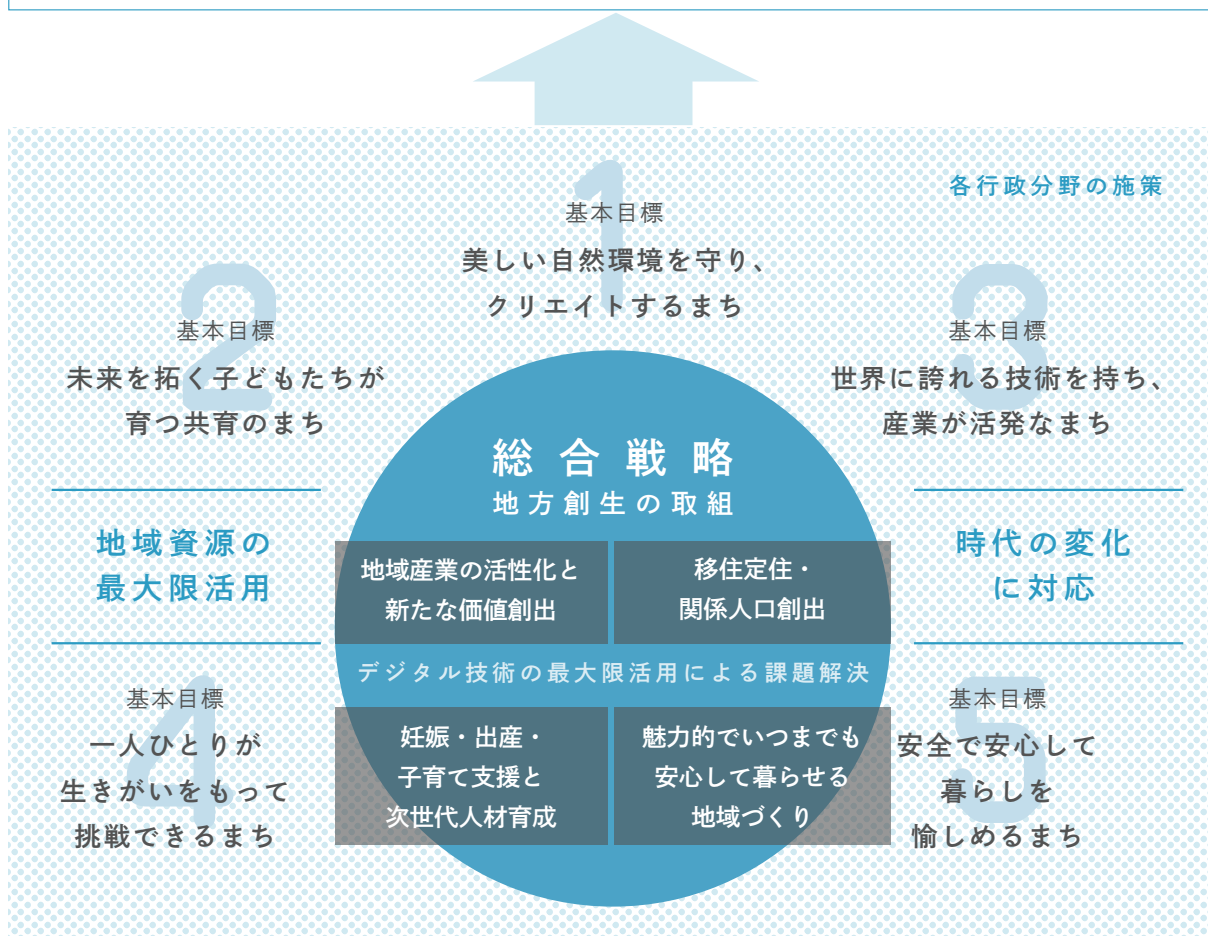
本市は、飯山市第 6 次総合計画に掲げた施策と地方創生の取組を一体的に進めるため、第 2 期飯山市総合戦略を総合計画に統合します。そして、将来のまちの姿「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向け、国の戦略を踏まえ、デジタル技術を最大限活用しながら行政分野横断的に推進する「飯山市総合戦略」（以下「総合戦略」という。）として、戦略と取組の方向性を定めます。

数値目標【令和9（2027）年度】

総人口：17,800人以上
合計特殊出生率：1.71

総合戦略と各行政分野の施策のイメージ

飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～



戦略 1

デジタル技術の最大限活用による課題解決

1-1 地域産業の活性化と新たな価値創出

基本的方向

- 地域産業のイノベーションによる生産性向上と新たな付加価値の創出を図ります。
- 地域内の経済循環を高め、地域経済活性化および雇用の創出を図ります。
- 産業間連携や大学・民間事業者等と連携し、先端産業など新たな価値の創出を図ります。
- 地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入によるエネルギーの地産地消と省エネ技術の導入を推進します。

具体的施策と成果指標

※各行政分野の施策から抜粋（以下同じ）

施策	成果指標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none">● 新価値創出・起業支援● 産業間連携、付加価値創出● 脱炭素の地域づくり● 利雪、楽雪● 魅力ある観光プログラムの構築	<ul style="list-style-type: none">● 起業支援件数● 新しい産業の創出に満足している市民の割合● 飯山駅周辺の賑わいに満足している市民の割合● 自然環境と都市環境の調和がとれた土地利用に満足している市民の割合● 本市の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量● 観光消費額● 観光産業の活性化に満足している市民の割合
<p>基本目標 3 世界に誇れる技術を持ち、 産業が活発なまち</p> <ul style="list-style-type: none">● 地域資源を活かした農林業の付加価値の向上● 商業空間・商業基盤の充実● 伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進	<ul style="list-style-type: none">● 農業産出額● 新規就農者● 農林業の活性化に満足している市民の割合● 雇用の増加● まちなかの商業・経済の活性化に満足している市民の割合● 伝統産業技術を活かした商品開発や仕組み

1-2 移住定住・関係人口創出

基本的方向

- テレワーク、ワーケーション、ブレッジャー、サテライトオフィスなど多様な働き方への支援や「転職なき移住」を推進します。
- まちづくり等に関する課題を共に解決するオンラインを含めた関係人口の創出を図ります。
- 移住希望者に対するデジタルツールを活用した飯山の魅力発信、情報提供、相談、支援の充実を図ります。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な交流・関係人口創出 ● 移住定住の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係人口 ● 移住者数

1-3 妊娠・出産・子育て支援と次世代人材育成

基本的方向

- 妊娠、出産から子育てまで、切れ目のない支援に取り組みます。
- 仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくりを推進します。
- GIGA スクール構想を推進するとともに、ICT を活用した学びの場を創出するなど未来を拓く子どもたちを育成するため、教育 DX を推進します。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 2 未来を拓く子どもたちが育つ 共育のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力ある保育サービスの推進 ● 子育て世代支援 ● 生き抜く力を育むための教育 ● 新たな時代に対応できる力を磨く教育 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て環境に満足している市民の割合 ● 合計特殊出生率 ● 小・中学校の教育環境に満足している市民の割合 ● 学力・体力向上

1-4 魅力的でいつまでも安心して暮らせる地域づくり

基本的方向

- 高齢者等世帯の除雪、買い物、見守り、避難対応等の支援に取り組みます。
- 地域の実情を踏まえ、集落機能の維持・活性化を図ります。
- 交通事業者や地域と連携し、持続可能で利便性の高い地域公共交通システムの構築を図ります。
- 迅速かつ的確な避難情報の発信や被害情報の収集、避難対応や災害に強いインフラ整備など防災・減災対策を推進します。
- 健康、福祉、医療など多様な分野へデジタル技術の導入を図り、誰もが安心して暮らしを愉しめる地域づくりに取り組みます。
- 各種行政手続きのオンライン化など市民や来訪者サービスの充実と効率化に取り組みます。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新産業創出・起業支援 ● 産業間連携、付加価値創出 ● デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築 <p>基本目標 5 安全で安心して 暮らしを愉しめるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 効率的な公共交通システムの構築 ● 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実 ● 特定健康診査等による疾病予防、介護予防 ● 地域福祉の推進 ● 高齢者福祉・介護サービス等の推進 ● 障がい者（児）福祉の推進 ● 地域医療の推進 ● 防災減災対策の推進 ● 自主防災力の向上 ● 冬の暮らしの安心・安全確保 ● 持続可能な集落づくり ● 効果的で質の高い行政運営 ● 健全な財政運営 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業支援件数 ● 市民・来訪者サービス DX に関する取組 ● 日常の交通の便利さに満足している市民の割合 ● 特定健診受診率 ● 要介護・要支援認定者割合（認定率） ● 高齢者のための福祉に満足している市民の割合 ● 障がいのある人のための福祉に満足している市民の割合 ● 医療体制に満足している市民の割合 ● 自然災害からの防災に満足している市民の割合 ● 除雪体制に満足している市民の割合 ● 地区の活性化活動に満足している市民の割合 ● 市役所の利用のしやすさに満足している市民の割合 ● 収納率 ● ふるさと納税寄附額

戦略 2 総合戦略を支えるデジタル基盤整備

2-1 デジタルインフラ整備

基本的方向

- マイナンバーカードの普及促進や利活用を図ります。
- 市内公共施設等に誰もがインターネットに接続できる通信インフラの充実を図ります。
- 市内の光ファイバ接続環境の充実を図ります。

具体的施策と成果指標

施策	成果指標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民への広報 ● デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築 ● デジタルインフラ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の広報活動に満足している市民の割合 ● 市民・来訪者サービス DX に関する取組

2-2 デジタル人材の確保・育成

基本的方向

- 多様なライフスタイルを実現するため、リカレント教育を推進します。
- 市民等のリテラシーレベルの向上を図ります。
- 民間企業・大学および専門学校等と連携し、デジタル技術に関する専門知識を持った外部デジタル人材を確保します。

具体的施策と成果指標

施策	成果指標
<p>基本目標 4 一人ひとりが生きがいをもって 挑戦できるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学びと生きがいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● スキルアップ、講座等の実施

2-3 誰一人取り残さないための取組

基本的方向

- 高齢者等がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる講座や講習会等を実施します。
- ユニバーサルデザインに配慮し、高齢者等が利用しやすいサービスを構築します。
- 新たなサービスの構築や導入を検討する際には、実証試験を行うなど実現可能性を検証します。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
基本目標4 一人ひとりが生きがいをもって 挑戦できるまち ● 学びと生きがいづくり	● スキルアップ、講座等の実施